

大阪大学 フェローシップ創設事業
「社会と知の統合」を実現する
イノベーション博士人材フェローシップ

2022 年度 二次募集 募集要項

本要項は大阪大学フェローシップ創設事業のうち「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップについて、フェローへの申請資格・申請方法・選抜試験の進め方などを示しています。

申請に際しては、ホームページ (<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2022/001110.php>) に掲載される最新情報を随時ご確認ください。また、申請に際しては 2022 年度 4 月以降の指導教員とよく相談をし、必ず指導教員の了承を得てください。

1. 制度の概要

1.1. 「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップの目的

先端的な科学技術の応用によってイノベーションが生み出されるといった「リニアモデル」の限界が指摘される中、大阪大学では「社会と知の統合」という理念の下、高度な専門力と汎用力を持ち、社会の多様なアクターとの共創によりイノベーションを牽引する新たな博士人材の育成を強化しています。「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ（以下、本フェローシップ）では、そうした人材への成長を目指し実践的な学際共創プロジェクトと研究を両立する学生をフェローとして採用し研究専念支援金と研究費を支援します。

1.2. フェローのミッション

本フェローシップは、「社会と知の統合^{※1}」に関連する学内機関（1.3.表参照）に参画する学生を対象に、経済支援およびキャリア形成支援を行うものです。フェローとして採用された者は期間中、上記機関において、社会と知の統合に関わる活動を精力的に行うことを義務とします。加えて、期間中のいずれかの時期に学際共創プロジェクト（後述）に参画すること、および新たなキャリアパスの開拓に向けた各種の取り組みに積極的に参加することが求められます。また、上記に沿った各年度の活動内容について、年度末に報告を行うこととします。

フェローシップ生の義務

- ✓ 社会と知の統合に関連する学内機関に参画すること
- ✓ 社会と知の統合に関連する学内機関において社会と知の統合に関わる活動を精力的に行うこと
- ✓ 学際共創プロジェクトに参画すること
- ✓ キャリアパス開拓に関連する取り組みへの参加
- ✓ 年次報告の実施
- ✓ その他、面談など本フェローシップが設定する事項を履行すること

1.3. 学際共創プロジェクトについて

学際共創プロジェクトとは、学内機関が主幹となって実施する、学外関係者との共創により社会課題に取り組む長期プロジェクトを指します。学際共創プロジェクトの要件は以下の通りです。

- (1) 個人の教員ではなく学内のいずれかの組織が管理するプロジェクトであること
- (2) 学外の組織・機関等との連携があること
- (3) 専門知の社会実装（リニアモデル）にとどまらず、新たな知の創出を目指した「共創」が前提とされていること
- (4) 教育研究上の意義だけではなく、社会課題の解決を念頭に置くものであること

※1 学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）における領域のひとつ（詳細：<https://itgp.osaka-u.ac.jp/systems/dwaa/>）

社会と知の統合に関連する学内機関、および学際共創プロジェクトの例は次頁の表の通りです。各機関への所属には別途申請等が必要となる場合があります。詳細は各機関 HP 等をご確認ください。なお、超域イノベーション博士課程プログラムについては 2022 年度 Advanced コース選抜試験が既に終了しています。

社会と知の統合に関連する学内機関、および学際共創プロジェクトの例

社会と知の統合に関連する学内機関	学際共創プロジェクトに該当するプロジェクト等名称	問い合わせ先
人間科学研究科附属未来共創センター, 未来共生イノベータープログラム (人間科学研究科)	オープンプロジェクト, 大阪大学オムニサイト (OOS) , 公共サービス・ラーニング特定演習, コミュニティ・ラーニング特定演習	info@respect.osaka-u.ac.jp
公共圏における科学技術・教育研究拠点 (CO デザインセンター)	研究プロジェクト	stips-staff@cscd.osaka-u.ac.jp
超域イノベーション博士課程プログラム (国際共創大学院学位プログラム推進機構)	超域イノベーション総合	info@cbi.osaka-u.ac.jp

2. 申請について

本フェローシップにおけるフェローとして採用されるためには、期日までに申請をした上で本フェローシップ選抜試験（以下、「選抜試験」）に合格する必要があります。なお、超域イノベーション博士課程プログラム 2022 年度 Advanced コース選抜試験に合格し、かつ本フェローシップ二次募集への申請を希望した者については、改めて申請書を提出することなく本フェローシップ選抜試験を受験することが可能です。

2.1. 申請資格

2022 年度 4 月 1 日現在、満 30 歳以上の者（臨床研修を課せられた医学系分野に在籍した者においては 33 歳以上）、あるいは社会人経験者^{※2}で、下表に記載されている研究科・専攻・課程に、博士後期課程 1 年次、5 年制博士課程の 3 年次（修士課程の修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限る）、および 4 年制博士課程の 2 年次として在籍する者であり、かつ 2022 年 4 月以降に社会と知の統合に関連する学内機関へ所属する意思がある者を申請可能としま

※2 「社会人」とは、文部科学省の学校基本調査における①職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、②給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫を指します。RA、TA、非常勤講師は社会人には含まれません。

す。申請に先立って当該の学内機関へ参画についての相談を行ってください。

課程	研究科・専攻 ^{※3}
博士後期課程	人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科、基礎工学研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科（構成大学のうち大阪大学）
4年制博士課程	医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（医療薬学専攻）
5年制博士課程	生命機能研究科

ただし、次に掲げる者は申請資格に該当しません。

- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受給している者（ただし、貸与型は申請可能です。）
- 留学生として外国の政府等からの奨学金を受給している者
- 国費外国人留学生として日本政府（文部科学省）奨学金を受給している者
- 本学が実施する奨学金等を受給している者。ただし、授業料を援助するためのものについては、この限りではありません。また、上記に示す奨学金等を受給していても、フェローシップの支給開始までに当該奨学金等の受給を辞退する場合は申請可能です。その場合、研究専念支援金については、フェローシップ支給開始年度に支給された当該奨学金等の支給額相当分を減じて支給します。

本学が実施する他のフェローシップ（超階層マテリアルサイエンスプログラム、分野横断イノベーションを創造する情報人材育成フェローシップ、量子リーダー人材フェローシップ）との重複申請は不可とします。本学が実施する次世代挑戦的研究者育成プロジェクトとの重複申請は可としますが、重複受給は不可となります。本フェローシップ選抜試験に合格した場合、次世代挑戦的研究者育成プロジェクトへの申請は辞退いただくことになります。

2. 採用について

2.1. 採用人数

若干名

2.2. 採用期間

2022年4月1日から3年間^{※4}

※3 専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

※4 2021年10月に入学した者については2022年4月1日から2024年9月30日までの2年6ヶ月間とする。また期間中に在籍している博士課程を退学又は除籍となる等受給資格を喪失した場合、その時点までの期間とする。

2.3 支援内容

フェローシップ生には、研究及び申請書に記載の活動内容に専念できるよう、研究専念支援金（生活費相当）及び研究・活動を行うための研究費が交付されます。

2022年度の支給予定額は以下のとおりです。

(1)研究専念支援金:年額 180 万円（年額の 12 分の 1 に相当する額を原則として毎月支給）※5

(2)研究費 :年額 70 万円※6

※5 初回の支給については、2022 年 4 月に支援金が指定口座に振り込まれます。

※6 採用者が所属する研究科に配分され、指導教員が予算執行権限者となります。

3. 選抜に関する日程

申請書受付期間	2022年1月19日(水)～同1月26日(水) 正午
プレゼンテーション・ 面接審査	2022年2月中旬
	※プレゼンテーション・面接審査を免除して合格とする場合があります。 試験日程は個別に設定することとし、対象者には別途メールにて連絡いたします。試験内容の詳細は「6. オンライン面接審査について」を参照してください。
採用通知	2022年2月中※7 (予定)

なお、障がい等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合には原則として2022年1月24日(月)までに本フェローシップ事務局へお問い合わせください(連絡先は末尾の【各種問い合わせ先】を参照)。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。

4. 申請手続

4.1. 申請受付期間

2022年1月19日(水)～1月26日(水) 正午【締切厳守】

4.2. 申請方法

以下の事項(1)～(3)全てを申請受付期間内に完了してください。

(1) 申請者情報の登録【Web フォーム】

申請者は以下の URL から必要情報を入力し、送信してください。送信後、申請番号が記載された返信メールが登録したメールアドレス宛に届きます。メールが届かない場合、迷惑メールフォルダもご確認ください。また入力・送信を複数回行った場合、原則として最新の送信内容を採用します。

申請者情報 登録 URL

<https://ws.formzu.net/dist/S44189715/>

(2) 申請書類の送付【NII FileSender】

受験者は(1)の登録後、次頁5に示す申請書類(様式1, 様式2, 成績証明書)を、1ファイルのPDFに変換したう

※7 採用通知は各申請者へ個別にメールで通知します。

えで、NII FileSender^{※8} (<https://filesender.nii.ac.jp/>)で selection@cscd.osaka-u.ac.jp へ送付してください。その際、メールの件名及びファイル名を『申請番号_氏名』としてください (ex. 101_阪大太郎)。

(3) 指導教員の推薦書・合格時の採用承諾書の提出【Web フォーム】

申請者は(1)の登録後、申請番号を指導教員へ知らせ、推薦書・合格時の採用承諾書の提出を依頼してください。指導教員は以下の URL から推薦書・合格時の採用承諾書を登録してください。

指導教員の推薦書・採用承諾書 登録 URL

<https://ws.formzu.net/dist/S47013288/>

5. 申請書類

下表に従い申請書類を提出してください。様式はホームページ (<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2022/001110.php>) からダウンロードしてください。

申請書類	
様式 1	申請理由書 (1000 字)
様式 2	研究計画書 研究業績一覧 (2000 字)
	成績証明書 ※修士課程もしくはそれに相当する課程における成績証明書

なお、申請書類の準備にあたっては、下記の各事項に注意してください。

- 様式の変更(欄の追加、枠のサイズ変更等)は行わないでください。
- 様式 1, 2 は日本語で記入してください。
- 図表はカラー可とします。
- 申請書類に重大な不備のある場合は受理できません。
- 申請手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- 申請時に提出された書類は、原則として返却しません。
- 申請書類に虚偽の記載があった場合は、採用決定後であっても採用を取り消すことがあります。

※8 NII FileSender は国立情報学研究所が提供する大容量ファイル転送サービスです。

詳しい利用方法は認証マニュアル (<https://web.auth.osaka-u.ac.jp/gakunin/ds-login.html>) および利用マニュアル (<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=67614082>) からご確認ください。なお、申請時点で国内の大学に籍がない等の理由で利用が困難な方は、末尾の【各種問い合わせ先】から個別にご相談ください。また、本サービスでは宛先が誤ったものであってもエラーの表示等はありません。宛先を十分に確認するとともに、送信時に「ダウンロード時に通知を受ける」にチェックし、また事務局がダウンロードしたか、適宜 FileSender 上で確認してください。

6. プレゼンテーション・面接審査について

6.1. 審査の実施について

試験日： 2022年2月中旬※9

オンラインテレビ会議システム（zoom）を用いて、10分間のプレゼンテーションおよび15分間の質疑応答を実施します。プレゼンテーション（10分間）では、以下の内容を紹介してください。

1. 今後の研究計画
 2. これまでの社会活動・グループ活動とそこから得たスキルや学び
 3. 大学院での学修・研究・活動を通してどのように成長し、さらに社会においてどのような人材になりたいかについてのビジョンや希望
- ✓ 上記の内容は異分野の大学院生にも十全に伝わるよう工夫して発表してください。
 - ✓ 質疑応答では発表内容の他、申請書類の内容についても質問を行います。

なお、受験者がオンラインテレビ会議システム（zoom）での面接に適した機器・環境を有していない場合（PCを有していない、PCにビデオカメラが搭載されていない、インターネットが利用できない、通信量に制限があるなど）、プレゼンテーション・面接審査の時間帯に限り、本学の無線LANが利用できるPCを所定の教室で貸与します。希望する学生は試験日の2日前までに末尾の【各種問い合わせ先】にその旨をお伝えください。

6.2. 審査における注意事項

- (1) 面接開始時刻の5分前にオンラインテレビ会議システム(zoom)のミーティングルームにアクセスしてください。面接開始時刻まで待機し、開始時刻になったら進行役の指示に従ってプレゼンテーションを開始してください。
- (2) 面接開始時刻に遅刻した場合は、原則として受験を認めません。遅刻の可能性がある場合は必ず末尾の【各種問い合わせ先】までご連絡ください。
- (3) 面接中は携帯電話を手元に用意してください。これは、面接中に通信回線の切断・不安定化が生じ、面接の続行が不可能になった場合、申請書類に記載された申請者の電話番号に連絡を行うためです。
- (4) 面接中はビデオカメラをオンにしてください。
- (5) 面接が開始されたら本人確認のために学生証（もしくは免許証など顔写真入りの身分証明書）をビデオに映し出してください。
- (6) 面接中は画面を録画・スクリーンショットなどは行わないでください。
- (7) 面接中に体調不良を感じた場合は速やかにその旨を申し出てください。
- (8) 試験中に知り得た情報を、当試験受験者以外に知らせることを禁止します。

※9 各申請者の面接日程、開始時間、Zoomへのアクセス方法は別途メールにて通知します。また面接免除による合格者についても別途個別に通知いたします。

(9) その他、進行役・スタッフの指示に従ってください。

7. 採用決定後の注意事項

7.1. 採用手続きについて

採用通知を受けた者はメール等にて別途通知される手続きに期日までに対応する必要があります。期日までに手続きが完了されない場合、採用が取り消される場合があります。

7.2. 研究専念支援金について

フェローシップ生に支給される研究専念支援金は、税法上「雑所得」とみなされ、課税の対象とされています。所得税の納付について確認し、確定申告等の手続きに漏れないよう留意してください。

本フェローシップ採用者が、フェローシップにおける活動目的を達成するために、当該活動等の実施に不可欠であるとフェローシップ責任者が特に認めた場合は、他の競争的資金を受けることが可能です。

8. 備考

8.1. 個人情報の取り扱い

- 申請時に提出された個人情報は「選抜試験（申請処理、試験実施）」、「採用通知」、「採用手続」等の業務および本フェローシップに関する業務を行うために利用されます。
- 奨学金に関しては、申請資格確認のため、記載された情報を使用して支給元に問い合わせる可能性があります。
- 選抜試験に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用されます。
- 上記の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

8.2. その他注意事項

- 本フェローシップへの申請を辞退する場合には、可能な限り早期に下記【各種問い合わせ先】にその旨をご連絡ください。
- 本フェローシップに採用された場合、氏名・所属などがHP等で公表されます。
- 本フェローシップ採用者には、採用期間中および採用期間終了後にキャリアパス等に関する調査への協力依頼を行うことがあります。
- 採用期間中は別に提示する遵守事項に反しないようご注意ください。遵守事項が守られない場合、支給の停止、返還請求等の対応を取ることがあります。

【 各種問い合わせ先 】

大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構

「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ事務局

E-mail : selection@cscd.osaka-u.ac.jp